

開講年度	2021年度	開講学期	前期
科目名	都市計画		授業種別 講義
科目名(英語)	City Planning		
授業コード・クラス名	A2000028 都市計画 【10-18】[対面+]		
担当教員	野澤 康		
単位数	2.0単位	曜日時限	水曜1限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	03-103講義室

学位授与の方針	1 基礎知識の修得 0 % 2 専門分野の知識・専門技術の修得 100 % 3 汎用的問題解決力の修得 0 % 4 道徳的態度と社会性の修得 0 %
具体的な到達目標	(1)都市計画とはどのようなものであるか、その役割や枠組み、歴史的背景を理解している。 (2)身近な都市の問題点や良い点を的確に捉えて、指摘することができる。 (3)具体的な都市の計画図書を読み解くことに必要な基礎知識を身につけている。
受講にあたっての前提条件	建築のみならず都市・まちにも関心を持ち、建築を都市を構成する要素と捉えることができていること
授業の方法とねらい	この授業のねらいは、 ・都市とは何かに目を向け、その上で都市計画とはどのようなものなのか、その概要や基本的な枠組みを理解すること。 ・建築を学ぶにあたって、建築そのものの敷地だけではなく、その周辺環境に広く目を向けることの重要性を知ること。 の2点である。 授業は概ね指定の教科書および追加資料を用いて進め、授業期間中に2回程度、復習のためのミニ・レポートを実施する。  この授業は、「対面+」で実施する予定である。クラスを2つあるいは3つのグループに分けて対面と遠隔を組み合わせることで、教室の密を回避しながら進めていく。詳細については、今後確定し次第、Ku-port、CoursePower等で連絡するので、必ず確認すること。 【2021/02/27時点】での実施方法の選択肢は以下の3つ。(今後、更新していく。) ※初回は、別の実施方法を採る可能性がある。 1) すべて対面で、教室で実施する。 2) クラスを3つのグループに分けて、3回のうち2回を対面で、あとの1回を遠隔で受講する。 3) クラスを2つのグループに分けて、2回のうち1回を対面で、もう1回を遠隔で受講する。
AL・ICT活用	特に活用しない

第1回		
事前学習	(第1回への事前学習) 自分が住んでいる街や出身都市の人口や都市問題を調べてみる。また、教科書pp.1-15を熟読して内容を理解しておく。	1時間
授業内容	都市とは？都市計画とは？を考える ：都市の理解、都市計画の意義、人口集中地区	
事後学習・事前学習	(第1回の事後学習) 第1回の授業内容をもとに、再度、自分が住んでいる街や出身都市の都市問題などを考えてみる。 (第2回への事前学習) 教科書pp.16-18を熟読し、内容を理解する。Googleなどを通して、扱われている事例の現在の様子を知る。	1時間
第2回		
授業内容	都市計画の近代史1 ：田園都市、近隣住区論、近代都市計画の発祥	
事後学習・事前学習	(第2回の事後学習) 講義に出てきた事例都市をGoogle等で確認して、現在どのようになっているかを把握する。 (第3回への事前学習) pp.19-24を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市計画マスタープランを、インターネットを通じて入手して読む。	1時間
第3回		
授業内容	都市計画の近代史2 ：日本における近代都市計画 都市計画法の体系 ：都市計画法、マスタープラン、都市計画制限と都市計画事業	
事後学習・事前学習	(第3回の事後学習)	1時間

		第3回の授業内容をもとに、改めて自分の居住都市や出身都市の都市計画マスタープランを読み、特にその構成要素は何かを確認する。 (第4回への事前学習) 教科書pp.25-29を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市形成プロセスを調べてみる。	
第4回			
	授業内容	都市形成プロセスと都市の把握 ：都市の形成、ニュータウン、K.リンチの「都市のイメージ」(都市の把握)	
	事後学習・事前学習	(第4回の事後学習) 自分の知っている地区の地図を用意し、都市のイメージの要素を盛り込んだ概念図を作成してみる。 (第5回への事前学習) 教科書pp.30-51を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市計画図を入手して読み取る。表現方法を学ぶ。	1時間
第5回			
	授業内容	土地利用計画と建築物のコントロール ：区域区分、地域地区、密度・用途・形態、形態規制 ミニ・レポート①の作成 ：第1回～第4回の講義内容の復習を行う。	
	事後学習・事前学習	(第5回の事後学習) ミニ・レポート①で出題された内容を改めて確認する。 身近な都市の都市計画図で、区域区分、地域地区等の指定を確認してみる。 (第6回への事前学習) 教科書pp.52-64を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市計画図から、地区計画がかけられている地区を抽出し、具体的な内容を調べてみる。	1.5時間
第6回			
	授業内容	地区スケールの計画・ルール ：形態規制、地区計画、建築協定	
	事後学習・事前学習	(第6回の事後学習) 形態規制について、建築士試験の問題などを解いて、内容を確認する。 (第7回への事前学習) 教科書pp.65-69を熟読し、内容を理解する。身近な都市では歩行者と自転車、自動車との関係はどうなっているか、実際の状況を観察する。	1.5時間
第7回			
	授業内容	都市の再生と交通システム1 ：街路空間・街路網、歩車分離、歩車共存、商業地区活性化と交通	
	事後学習・事前学習	(第7回の事後学習) 先進的な交通システムを実現している都市の事例を探し、そこで工夫されている内容を学習する。 (第8回への事前学習) 教科書pp.70-76を熟読し、内容を理解する。身近な交通問題や都市の人口減少に注目して、その問題の原因と解決策を考察する。	1時間
第8回			
	授業内容	都市の再生と交通システム2 ：総合的な交通政策、公共交通、駅前広場、自転車利用、コンパクトシティ 都市と自然1 ：公園・緑地・オープンスペースの意義	
	事後学習・事前学習	(第8回の事後学習) 身近な都市の「立地適正化計画」を読解して、コンパクトシティや交通政策の最前線を理解する。 (第9回への事前学習) 教科書pp.77-89を熟読し、内容を理解する。身近な公園・緑地・オープンスペースに行き、その機能や環境を調べてみる。キャンパスや自宅周辺で生産緑地を探し、その状況を知る。	1時間
第9回			
	授業内容	都市と自然2 ：都市公園、緑の基本計画、様々な公園等、生産緑地	
	事後学習・事前学習	(第9回の事後学習) 八王子キャンパス周辺の生産緑地を探し、周辺の住宅地との関係を考察する。 (第10回への事前学習) 教科書pp.90-99を熟読し、内容を理解する。各種事業の身近な事例を実際に見て、その空間を学び取る。	1.5時間
第10回			
	授業内容	市街地開発事業と都市再生	

	：土地区画整理事業、市街地再開発事業、開発許可、ミニ開発	
事後学習・事前学習	(第10回の事後学習) 八王子駅周辺の再開発事例を実体験する。その際、現場で実際の空間を体験するとともに、市HPなどで事業計画のドキュメントを閲覧し、計画と実現した空間との関係を把握する。 (第11回への事前学習) 教科書pp.100-112を熟読し、内容を理解する。自分が大地震に遭遇した時に、まず何をするか、また、災害時に家族とどのように連絡を取るかを考え、相談してみる。	1.5時間
第11回		
授業内容	都市と防災 ：災害、地域危険度、不燃領域率、ハザード、災害から守る、犯罪から守る ミニ・レポート②の作成 ：第5回～第10回の講義の内容の復習を行う。	
事後学習・事前学習	(第11回の事後学習) ミニ・レポート②で出題された内容を改めて確認する。 身近なまちの災害の危険性を、ハザードマップを通して理解する。また、発生時を想定して対策を検討する。 (第12回への事前学習) 教科書pp.113-123を熟読し、内容を理解する。美しい景観、良好な景観とはどんなものか？自分が行ったことのある街から考えてみる。	1時間
第12回		
授業内容	都市の景観まちづくり ：都市デザイン、景観の領域性、景観法	
事後学習・事前学習	(第12回の事後学習) 身近な都市で、「良い景観」「悪い景観」を探し、その理由・原因を考察してみる。 (第13回への事前学習) 教科書pp.124-134を熟読し、内容を理解する。身近なまちで行われている参加型まちづくりの事例を調査する。可能であれば、実際に参加してみる。	1時間
第13回		
授業内容	参加・協働のまちづくり ：計画プロセスと参加、ワークショップ、主体、コミュニケーション 講義全体のまとめにかえて ：都市再生の課題、居住環境の性能・水準（これからの都市・市街地像を考えるために）	
事後学習・事前学習	この講義全体を振り返り、特にキーワードなど重要なポイントを整理する。	1.5時間
第14回		
授業内容	学習成果の振り返り	
事後学習	講義全体の振り返りを行い、ノートを整理する。 さらに、自身の学習成果を到達目標と比較して自己評価しておく。	1.5時間
成績評価の方法	授業中に実施するミニ・レポート等40%、学期末試験（教室で実施予定）60%によって成績を評価する。 状況によっては、学期末試験をレポートに変更する可能性がある。 A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とする。	
教科書	「初めて学ぶ都市計画 第二版」饗庭伸・鈴木伸治編著（市ヶ谷出版社）	
参考書	「都市計画第3版」川上光彦著（森北出版） 「初学者のための都市工学入門」高見沢実著（鹿島出版会） 「市町村の都市計画1～3」日笠 端著（共立出版） 「市民参加のまちづくり」渡辺俊一編著（学芸出版社） 他、講義中に随時紹介する。 また、これらの単行本に加えて、自治体発行の各種資料や新聞も参考としながら、学習してほしい。	
オフィスアワー	前期水曜日13:00～13:40（八王子キャンパス3号館3階建築事務室） 前期火曜日10:00～11:00（新宿キャンパス26階A2674号室） それ以外でもメールでの事前連絡により対応可能であるが、基本的に新宿校舎での対応となる。（後期も同様） E-mail；nozawa@cc.kogakuin.ac.jp	
受講生へのメッセージ	講義開始後の入室は原則として認めない。遅刻・私語・内職は厳禁で臨んで欲しい。 また、断片的な用語の暗記ではなく、都市計画の大きな枠組みと様々な概念をしっかりと理解して説明できるように学習してほしい。 さらに、設計課題や卒業研究、他の講義科目などの中で応用できるようになることを目指してほしい。	
実務家担当科目	実務家担当科目ではない	
実務経験の内容		



開講年度	2021年度	開講学期	前期
科目名	都市計画	授業種別	講義
科目名(英語)	City Planning		
授業コード・クラス名	A2000029 都市計画 【01-09】[対面+]		
担当教員	野澤 康		
単位数	2.0単位	曜日時限	水曜2限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	03-105講義室

学位授与の方針	1 基礎知識の修得 0 % 2 専門分野の知識・専門技術の修得 100 % 3 汎用的問題解決力の修得 0 % 4 道徳的態度と社会性の修得 0 %
具体的な到達目標	(1)都市計画とはどのようなものであるか、その役割や枠組み、歴史的背景を理解している。 (2)身近な都市の問題点や良い点を的確に捉えて、指摘することができる。 (3)具体的な都市の計画図書を読み解くことに必要な基礎知識を身につけている。
受講にあたっての前提条件	建築のみならず都市・まちにも関心を持ち、建築を都市を構成する要素と捉えることができていること
授業の方法とねらい	この授業のねらいは、 ・都市とは何かに目を向け、その上で都市計画とはどのようなものなのか、その概要や基本的な枠組みを理解すること。 ・建築を学ぶにあたって、建築そのものの敷地だけでなく、その周辺環境に広く目を向けることの重要性を知ること。 の2点である。 授業は概ね指定の教科書および追加資料を用いて進め、授業期間中に2回程度、復習のためのミニ・レポートを実施する。  この授業は、「対面+」で実施する予定である。クラスを2つあるいは3つのグループに分けて対面と遠隔を組み合わせることで、教室の密を回避しながら進めていく。詳細については、今後確定し次第、Ku-port、CoursePower等で連絡するので、必ず確認すること。 【2021/02/27時点】での実施方法の選択肢は以下の3つ。(今後、更新していく。) ※初回は、別の実施方法を採る可能性がある。 1) すべて対面で、教室で実施する。 2) クラスを3つのグループに分けて、3回のうち2回を対面で、あとの1回を遠隔で受講する。 3) クラスを2つのグループに分けて、2回のうち1回を対面で、もう1回を遠隔で受講する。
AL・ICT活用	特に活用しない

第1回		
事前学習	(第1回への事前学習) 自分が住んでいる街や出身都市の人口や都市問題を調べてみる。また、教科書pp.1-15を熟読して内容を理解しておく。	1時間
授業内容	都市とは？都市計画とは？を考える ：都市の理解、都市計画の意義、人口集中地区	
事後学習・事前学習	(第1回の事後学習) 第1回の授業内容をもとに、再度、自分が住んでいる街や出身都市の都市問題などを考えてみる。 (第2回への事前学習) 教科書pp.16-18を熟読し、内容を理解する。Googleなどを通して、扱われている事例の現在の様子を知る。	1時間
第2回		
授業内容	都市計画の近代史1 ：田園都市、近隣住区論、近代都市計画の発祥	
事後学習・事前学習	(第2回の事後学習) 講義に出てきた事例都市をGoogle等で確認して、現在どのようになっているかを把握する。 (第3回への事前学習) pp.19-24を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市計画マスタープランを、インターネットを通じて入手して読む。	1時間
第3回		
授業内容	都市計画の近代史2 ：日本における近代都市計画 都市計画法の体系 ：都市計画法、マスタープラン、都市計画制限と都市計画事業	
事後学習・事前学習	(第3回の事後学習)	1時間

	第3回の授業内容をもとに、改めて自分の居住都市や出身都市の都市計画マスタープランを読み、特にその構成要素は何かを確認する。 (第4回への事前学習) 教科書pp.25-29を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市形成プロセスを調べてみる。	
第4回		
授業内容	都市形成プロセスと都市の把握 ：都市の形成、ニュータウン、K.リンチの「都市のイメージ」(都市の把握)	
事後学習・事前学習	(第4回の事後学習) 自分の知っている地区の地図を用意し、都市のイメージの要素を盛り込んだ概念図を作成してみる。 (第5回への事前学習) 教科書pp.30-51を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市計画図を入手して読み取る。表現方法を学ぶ。	1時間
第5回		
授業内容	土地利用計画と建築物のコントロール ：区域区分、地域地区、密度・用途・形態、形態規制 ミニ・レポート①の作成 ：第1回～第4回の講義内容の復習を行う。	
事後学習・事前学習	(第5回の事後学習) ミニ・レポート①で出題された内容を改めて確認する。 身近な都市の都市計画図で、区域区分、地域地区等の指定を確認してみる。 (第6回への事前学習) 教科書pp.52-64を熟読し、内容を理解する。自分の居住都市や出身都市の都市計画図から、地区計画がかけられている地区を抽出し、具体的な内容を調べてみる。	1.5時間
第6回		
授業内容	地区スケールの計画・ルール ：形態規制、地区計画、建築協定	
事後学習・事前学習	(第6回の事後学習) 形態規制について、建築士試験の問題などを解いて、内容を確認する。 (第7回への事前学習) 教科書pp.65-69を熟読し、内容を理解する。身近な都市では歩行者と自転車、自動車との関係はどうなっているか、実際の状況を観察する。	1.5時間
第7回		
授業内容	都市の再生と交通システム1 ：街路空間・街路網、歩車分離、歩車共存、商業地区活性化と交通	
事後学習・事前学習	(第7回の事後学習) 先進的な交通システムを実現している都市の事例を探し、そこで工夫されている内容を学習する。 (第8回への事前学習) 教科書pp.70-76を熟読し、内容を理解する。身近な交通問題や都市の人口減少に注目して、その問題の原因と解決策を考察する。	1時間
第8回		
授業内容	都市の再生と交通システム2 ：総合的な交通政策、公共交通、駅前広場、自転車利用、コンパクトシティ 都市と自然1 ：公園・緑地・オープンスペースの意義	
事後学習・事前学習	(第8回の事後学習) 身近な都市の「立地適正化計画」を読解して、コンパクトシティや交通政策の最前線を理解する。 (第9回への事前学習) 教科書pp.77-89を熟読し、内容を理解する。身近な公園・緑地・オープンスペースに行き、その機能や環境を調べてみる。キャンパスや自宅周辺で生産緑地を探し、その状況を知る。	1時間
第9回		
授業内容	都市と自然2 ：都市公園、緑の基本計画、様々な公園等、生産緑地	
事後学習・事前学習	(第9回の事後学習) 八王子キャンパス周辺の生産緑地を探し、周辺の住宅地との関係を考察する。 (第10回への事前学習) 教科書pp.90-99を熟読し、内容を理解する。各種事業の身近な事例を実際に見て、その空間を学び取る。	1.5時間
第10回		
授業内容	市街地開発事業と都市再生	

	：土地区画整理事業、市街地再開発事業、開発許可、ミニ開発	
事後学習・事前学習	<p>(第10回の事後学習) 八王子駅周辺の再開発事例を実体験する。その際、現場で実際の空間を体験するとともに、市HPなどで事業計画のドキュメントを閲覧し、計画と実現した空間との関係を把握する。</p> <p>(第11回への事前学習)</p> <p>教科書pp.100-112を熟読し、内容を理解する。自分が大地震に遭遇した時に、まず何をするか、また、災害時に家族とどのように連絡を取るかを考え、相談してみる。</p>	1.5時間
第11回		
授業内容	<p>都市と防災</p> <p>：災害、地域危険度、不燃領域率、ハザード、災害から守る、犯罪から守る</p> <p>ミニ・レポート②の作成</p> <p>：第5回～第10回の講義の内容の復習を行う。</p>	
事後学習・事前学習	<p>(第11回の事後学習)</p> <p>ミニ・レポート②で出題された内容を改めて確認する。</p> <p>身近なまちの災害の危険性を、ハザードマップを通して理解する。また、発生時を想定して対策を検討する。</p> <p>(第12回への事前学習)</p> <p>教科書pp.113-123を熟読し、内容を理解する。美しい景観、良好な景観とはどんなものか？自分が行ったことのある街から考えてみる。</p>	1時間
第12回		
授業内容	<p>都市の景観まちづくり</p> <p>：都市デザイン、景観の領域性、景観法</p>	
事後学習・事前学習	<p>(第12回の事後学習)</p> <p>身近な都市で、「良い景観」「悪い景観」を探し、その理由・原因を考察してみる。</p> <p>(第13回への事前学習)</p> <p>教科書pp.124-134を熟読し、内容を理解する。身近なまちで行われている参加型まちづくりの事例を調査する。可能であれば、実際に参加してみる。</p>	1時間
第13回		
授業内容	<p>参加・協働のまちづくり</p> <p>：計画プロセスと参加、ワークショップ、主体、コミュニケーション</p> <p>講義全体のまとめにかえて</p> <p>：都市再生の課題、居住環境の性能・水準（これからの都市・市街地像を考えるために）</p>	
事後学習・事前学習	この講義全体を振り返り、特にキーワードなど重要なポイントを整理する。	1.5時間
第14回		
授業内容	学習成果の振り返り	
事後学習	講義全体の振り返りを行い、ノートを整理する。さらに、自身の学習成果を到達目標と比較して自己評価しておく。	1.5時間
成績評価の方法	<p>授業中に実施するミニ・レポート等40%、学期末試験（教室で実施予定）60%によって成績を評価する。状況によっては、学期末試験をレポートに変更する可能性がある。</p> <p>A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とする。</p>	
教科書	「初めて学ぶ都市計画 第二版」饗庭伸・鈴木伸治編著（市ヶ谷出版社）	
参考書	<p>「都市計画第3版」川上光彦著（森北出版）</p> <p>「初学者のための都市工学入門」高見沢実著（鹿島出版会）</p> <p>「市町村の都市計画1～3」日笠 端著（共立出版）</p> <p>「市民参加のまちづくり」渡辺俊一編著（学芸出版社） 他、講義中に随時紹介する。</p> <p>また、これらの単行本に加えて、自治体発行の各種資料や新聞も参考としながら、学習してほしい。</p>	
オフィスアワー	<p>前期水曜日13:00～13:40（八王子キャンパス3号館3階建築事務室）</p> <p>前期火曜日10:00～11:00（新宿キャンパス26階A2674号室）</p> <p>それ以外でもメールでの事前連絡により対応可能であるが、基本的に新宿校舎での対応となる。（後期も同様）</p> <p>E-mail；nozawa@cc.kogakuin.ac.jp</p>	
受講生へのメッセージ	<p>講義開始後の入室は原則として認めない。遅刻・私語・内職は厳禁で臨んで欲しい。</p> <p>また、断片的な用語の暗記ではなく、都市計画の大きな枠組みと様々な概念をしっかりと理解して説明できるように学習してほしい。</p> <p>さらに、設計課題や卒業研究、他の講義科目などの中で応用できるようになることを目指してほしい。</p>	
実務家担当科目	実務家担当科目ではない	
実務経験の内容		

